

平成28年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		<b>障害者自立支援センター</b>					所管	福祉部 障害福祉課
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	175	計画事業名	相談支援体制の充実			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり						
		[小 柱] (5)障害者の地域生活を支える支援の充実						
		[施策] ①相談支援体制の充実						
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区松が谷福祉会館条例				
	事業対象	身体・知的障害者(児)						
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者やその家族に対し相談支援(計画相談・一般相談等)を行い、障害者の自立と社会参加を促進する。</li> <li>・自立支援協議会において関係機関のネットワークの構築と相談支援事業全般のレベルアップを目指す。</li> </ul>						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切なサービス調整のための相談事業</li> <li>・相談支援事業(計画相談・一般相談・ピアカウンセリング等)の実施</li> <li>・障害者地域自立支援協議会の運営(協議会本部・リーダー会・相談支援部会・就労部会・くらしの部会)</li> </ul>						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	国・都							
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	相談支援事業実施期間	-	通年	通年	通年	通年	
		成果指標	相談支援件数	件	5,200	2,764	3,159	5,133
	決算額 (単位:千円)				13,123	18,067	18,917	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			35,539	34,327	34,321	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,036	921	368	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,261	1,241	270	
		総経費			37,836	36,489	34,959	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,744	2,326	7,220	
一般財源(区負担額)			36,092	34,163	27,739			
前回評価から改善した事項	平成28年1月より「精神障害者地域生活支援センターあさがお」とともに、基幹相談支援センターを設置。区全体の障害者相談の質の向上を目指し、計画的な研修等を実施している。							
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由						
	必要性	4	松が谷福祉会館は基幹相談支援センターとして障害者(児)とその家族に対する相談支援の中核的な役割を担っている。また、委託相談支援事業者の資質向上や研修事業の開催など指導的役割も大きい。					
	効率性	3	前年度と比べ相談支援件数は大幅に増加したが、社会福祉士等の資格を持つ専門性の高い相談支援専門員により効率的に対応している。					
	手段の適切性	3	区直営の基幹相談支援センターとして複雑かつ困難なケースを担当することが多いため、相談が長期化する場合がある。多様な相談に対応できる人材の育成を進め、地域全体の相談支援機能の強化を図っていく。					
目的達成度	4	相談支援件数は大幅に増加しており、障害者の自立と社会参加を促進することができている。また、自立支援協議会を年3回、専門部会(相談支援部会、くらしの部会、就労部会)を月1回開催し、関係機関との相互連携に努めるとともに、相談支援専門員を対象とする研修会を実施し、資質向上を図った。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)							評価結果	
障害者自立支援センターは、区における障害者相談支援体制の中核として、また相談支援事業者の指導的立場として重要な役割を担っていることから、引き続き事業を実施していく。								
今後の方向性							維持	
							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	